

令和7年2月20日（木）全校朝礼

毎日寒い日が続いています。3年生で公立高校の一般入試を受検する人は出願を終え、今まさに合格に向けて必死に頑張っていると思います。うららかな春は厳しい冬のあとにやってきます。進路が決まっている人も含めて卒業まであと1月を切りました。悔いの残らぬよう1日1日を大切にしてほしいと考えています。

さて、前回の朝礼では人生の時計の話をしました。時計は時間を刻むものですが、人の記憶というのは実に曖昧なもので、強く印象に残った出来事も時間が経つことで、だんだん記憶の片隅に追いやられて忘れていきます。

例えば先日、タレントの中居正広さんを巡る事件は、ワイドショーなど様々なメディアが取り上げ、問題になったフジテレビは10時間を超える記者会見を行いました。今はもうほとんど報道されることはありません。そうすると、視聴者である私たちもしだいに話題にしなくなり、やがて騒ぎは収まっていきます。

新型コロナウイルスだってそうです。今でもインフルエンザ同様、流行していますが、いまではほとんど報道されることはありません。でもそれは悪いことではありません。嫌なことは忘れて、新しい一歩を踏み出した方がよい場合もあります。

しかし、中には忘れてはならないこともあります。

皆さんは3年前のちょうど今ごろ、世界で何が起こったか覚えていますか。それは今も続いており、まだ解決していません。

3年前、2022年2月24日に、ロシアがウクライナに軍事侵攻しました。戦争がはじまったのです。3年という月日は長く、時間の経過は人々の関心を薄くしてしまいますが、ウクライナの人々は今このときも苦しんでいます。もうすでにたくさんの方が命を落としています。私たちは当事者ではないので、詳しい事情は分かりません。ロシアにはロシアの理由があるのですが、ウクライナの領土に武力で侵攻する行為はあってはならないことであり、断じて許されるものではありません。

私は、戦争は最大の人権侵害だと考えています。人間は生物である以上、寿命が尽きればやがて死んでしまいます。いつか死んでしまうならば、なぜ生まれてくるのか、私は昔、そんなことを考えたことがあります。そして、そのとき出した自分なりの結

論は「人は幸せになるために生まれてくる」というものです。答えになっていないと非難されるかもしれませんが、その結論に達したとき、私は何だか納得できたのです。だから、人権とは「みんなが幸せになる権利」であり、戦争によって、ある日突然、何の前触れもなく命を奪われることはあってはならない人権侵害なのです。

中学生の時期に、戦争と平和について学ぶことや考えることはとても大切なことだと思います。本校では3年生が修学旅行で沖縄を訪れていますが、3年生は、資料館などで、今から約80年前に、太平洋戦争で唯一の地上戦が行われた沖縄で、戦争の様子を学習することで、戦争に巻き込まれた人たちの苦しみや悲しみを実感し、当たり前のように過ごしている平和な日常のありがたさを感じたことと思います。

ただ、日本だって今は外国人から見ると平和な国のように見えるかもしれませんが、近隣の国との領土問題もありますから、いつ戦争に巻き込まれるかわかりません。だから、私は皆さんには世界で起こっている戦争を、ぜひ自分事として考えてほしいと思います。戦争は昔あったことではなく、今も現実には起こっています。

世界の情勢を通して、争いをなくすために何が必要か。平和について、人権について考えることを通して、皆さんには思いやりのある、温かい人になってほしいし、いじめや暴力のない観音寺中学校であってほしいと思っています。

今日は「観中人権の日」です。観中生みんなが人権について考える日に当たって、話を聞いてもらいました。

繰り返しになりますが、3年生については、残り少ない中学校生活、1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。また、1、2年生については、学年末テストが迫っていますので、授業に真剣に取り組むとともに計画的に学習を進めてほしいと考えています。

以上です。静かに聞いてくれてありがとうございます。